



“誰もが憧れる学校”へ！

朝、生徒玄関の前では、とても気持ちの良い光景が広がります。その光景の中心は、遠く白山の上から降り注ぐ力強い朝陽と、そして南中生による気持ちの良いあいさつです。


生徒会の役員のみなさんや有志の生徒たちが元氣なあいさつをしてくれています。登校した生徒の皆さんもさわやかにあいさつを返して、朝、生徒玄関前は朝陽とあいさつのシャワーに包まれています。



あいさつには人を元氣にさせたり、やる気にさせたり、優しくさせたり、すごいパワーがあります。だから、南部中にはパワーがみなぎっているのかも知れませんね。

このあいさつを始めとして、生徒のみなさんの力で、南部中を“誰もが憧れる学校”にしていきたいと思います。地域の方から愛され、誇りに思ってもらえるような学校。生徒や先生方もみんなが誇りに思える学校。そんな風になれば、自然と誰もが憧れる学校になっていくはずですよ。そのために自分はどんなことができるのか、考えていきたいですね！

今年の生徒会スローガンは『真・信・芯・進』！

<p>真…真剣に取り組む</p> <p>信…信頼し合える</p> <p>芯…自分の芯を持つ</p> <p>進…みんなで前進していく</p> 	<p>心の中に四つのしんを持って ひとりひとりが輝ける学校へ</p> <p>↓</p> <p>小松の南十字星に</p> 
---	---

先日のレッツスタート集会で、今年度の生徒会スローガンが発表されました。

今年度は『真・信・芯・進』という4つの漢字をもとにしたものになりました。『真』は真剣に取り組む、『信』は信頼し合える、『芯』は自分の芯を持つ、『進』はみんなで前進していく、という意味が込められています。

いろんな場で、ほめられることが多い南部中ですが、さらに高みを目指すために必要なことを、生徒会が中心となって考えてくれました。

学校は、生徒のみなさんがつくるものです。みんなが良い学校を目指せば、必ず良くなります。みんながさらに良くしようと思えば、必ずそうなります。

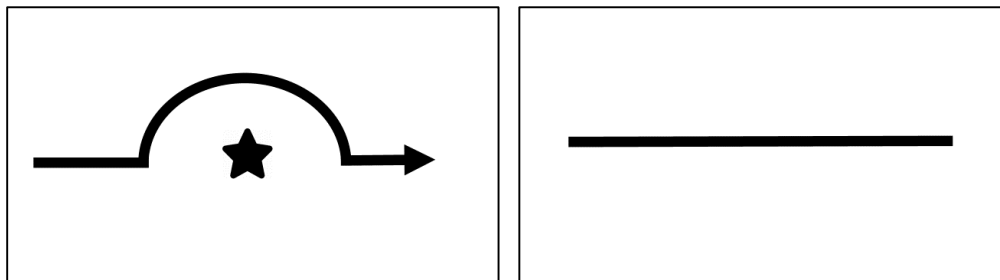
アメリカのリンカン元大統領の言葉に、「意志のあるところに道はひらける」というのがあります。目標を達成できるかできないかは、どんなに困難な道でも、それをやり遂げる意志があるかどうかの差なのです。南部中の生徒の一人ひとりが、「さらに学校を良くしていくんだ」という「意志」を持って頑張っていきましょう！

自分たちで考えることが、成長へとつながる！

5月の心のテーマは『自主・自律』です。これは簡単に言うと、自ら進んでやること・言われる前にやることです。

みなさんはきっと誰もが「成長したい」とか「もっと良くなりたい」と心の中で願っていることだと思います。『自主・自律』の心はみなさんの成長にとっても関わってきます。

5月2日の全校集会の中で、2枚の絵を紹介しました。



みなさんの成長の妨げになっている言葉に「～しなさい」や、「～してはいけません」というのがあります。このような言葉は、言われれば言われるほどやる気がなくなったり、してはいけないことをしてしまったりする、成長を妨げるキーワードとなっています。もしかしたら先生方やお家の方から言われることもあるかも知れません。

それを防ぐために、心に留めておいてもらいたいのが、上の2枚の絵です。

左は、ぶつかる前の先回りの行動の絵。右は心の中にひいた線の絵。

言われたことをきちんとできる、というのは良いことです。本当にレベルの高い人は、言われたことだけをするのではなく、親や先生の言うことを先回りしてできる人です。これを「自主」と言います。もちろん、多少の失敗、リスクはあるかも知れませんが、それすらも成長の糧になります。自分で考え、判断し、行動するという過程が、成長にとって極めて重要なのです。

新しい学年やクラスになり1か月。当番の仕事や係の仕事、授業、部活動や家の中のことなど、自分で先回りしてできていますか？それができる人がより多くの教訓を身に付けていくことができますし、また、集団の中でも輝いていくことができます。

さて、みなさんは、世の中や学校のきまりをきちんと守ることができていますか？あるいは、授業中などに、人に迷惑をかけていませんか？

ついそのようなことをしてしまう人には、右の絵のような線が心の中に引けていない人なのです。この心の線を越えてしまわないように、「この辺まではいい」「ここからはダメだ」というように、自分で考えることができることを「自律」と言います。幼い子は、この線が分からないので、越えてしまい叱られることで、覚えていきます。しかし、中学生であるみなさんは、「この線は越えたらダメだよな」という判断ができるはずですが、また、周りの人も「おい、今のは一線を越えているぞ」と分かるはずですが、注意もできるはずですが、

行事を自分たちでつくり上げ、学校生活を充実させ、成長していく人や集団に共通する特徴として、この「自主・自律」ができることが挙げられます。逆にこれできていない集団は、何一つ自分たちでやれず、言われたことしかできない(しない)ため、つくり上げる楽しさや達成感など味わえずに、やらされ感だけが残るのです。今年の南部は、どちらを選んでいきますか？